

# サマーレッド

登録番号：第3351号

登録時は銚本勝義(名義変更)

登録年月日：平成5年1月18日

育成者：銚本勝義

登録者：愛知県経済農業協同組合連合会

来歴：「柵井ドーフィン」の栽培

(愛知県名古屋市中区錦3丁目3-8)

圃場で発見

## 特性

### ■栽培特性

特性は「柵井ドーフィン」によく似るものの秋果の成熟期が早く、着色性に優れた夏秋果兼用の早生種である。樹姿は開張性であり樹の大きさはやや小さめである。樹勢は中であるが「柵井ドーフィン」に比べやや弱い。枝梢の粗密、長さおよび太さは中、節間長は長である。葉身の形は円で、裂片数は5裂で切れ込みの深さは中である。葉の大きさはやや大きく、長さおよび幅は中である。葉柄は長く、太さは中である。樹は「柵井ドーフィン」と区別しにくい。

成木園では樹齡が進むにつれて結果枝が弱くなる傾向にあるため、樹勢を強めに維持するような肥培管理をする。また、耐寒性は「柵井ドーフィン」と同程度であるが耐湿性はやや弱いと思われるので排水対策に留意したい。

生育は「柵井ドーフィン」より発芽・展葉および着果時期が3～4日早く、収穫時期はおおむね6～7日早まり、収穫期間も8月上旬から10月下旬までと長期にわたる早熟性の品種である。着果性は若木のときやや悪いが、成木になれば問題はない。ハウス栽培においては飛び節が出やすく問題になる。また、裂果は収穫初期の肥大最盛期に出やすく、成熟期の裂果も見られる。そのため、結果枝間隔を広く取り、十分光が基部まであたる新梢管理と好適樹相にコントロールするための肥培管理と水管理が栽培のポイントとなる。

### ■果実特性

「柵井ドーフィン」と比較して、果実は長卵形で丸みを帯び、果実のくび部の形が漸先形、太くて短いのが特徴である。また、果実は収穫初期が特に大きく、100～130gの大果も生産でき、収量性の高い品種である。果皮の色は赤褐色で、赤味がやや濃く光沢に富む。果脈の鮮明度は明瞭で密度は密である。果頂部の目の大きさは大きく、開いており、色は赤紫色である。果皮は薄いが強くと、日持ちはやや良いと思われる。花托は厚く果肉部が多い。雌花の厚さ、果肉の密度、硬度および果汁の量は中であるが、見た目より重量感がある。また、糖度は完熟果で14度以上にはなる。

収穫時期は果皮の着色の進行が早く、色調も赤味を帯び濃いので色のみで収穫すると熟度が進んでおらず早取りになり、食味が悪くなるので注意する。

### ■病虫害抵抗性

「柵井ドーフィン」と同じ程度である。病害では疫病、黒かび病、さび病、害虫ではスリップス、カミキリムシ、ネコブセンチュウの発生に注意したい。

### ■地域適応性

気象および土壌等自然条件に対する適応性は広い。「柵井ドーフィン」のできる地域であれば栽培可能である。ただ、耐湿性、乾燥にやや弱いため地力のある深い土壌が適地である。結果枝の下位節果実の着色がより悪くなりやすいので、日当たりの良いところを選ぶ。実際栽培でも、水田転換、ミカン園転換、畑地転換といろいろの形態がある。愛知県においては栽培面積245haにおおむね20ha程度の普及がみられる。

(山口榮一)